

## 解答

問一 (1) 所属 (2) 伝統 (3) 困難 (4) 墓参 (り) (5) 運転  
 (1) けびょう (2) ただ (ちに) (3) じいじうざ (した)  
 (1) そつせん (5) けだか (い)  
 (4) オ (2) ウ (3) ア (4) イ  
 (1) めしあがつ (て) (2) おめにかかれ (て) (5) ハ  
 (4) じさい (ます) (5) こらんになつ (て) (3) さしあげ (た)

問二 (1) イ 共有 (2) ア ウ・カ  
 (2) イ 共有 (1) ア ウ・カ  
 (1) オ (2) ウ (3) ア (4) イ  
 (1) めしあがつ (て) (2) おめにかかれ (て) (5) ハ  
 (4) じさい (ます) (5) こらんになつ (て) (3) さしあげ (た)

問三 (1) イ 共有 (2) ア ウ・カ  
 (2) イ 共有 (1) ア ウ・カ  
 (1) オ (2) ウ (3) ア (4) イ  
 (1) めしあがつ (て) (2) おめにかかれ (て) (5) ハ  
 (4) じさい (ます) (5) こらんになつ (て) (3) さしあげ (た)

問四 (1) イ 共有 (2) ア ウ・カ  
 (2) イ 共有 (1) ア ウ・カ  
 (1) オ (2) ウ (3) ア (4) イ  
 (1) めしあがつ (て) (2) おめにかかれ (て) (5) ハ  
 (4) じさい (ます) (5) こらんになつ (て) (3) さしあげ (た)

問五 (1) イ 共有 (2) ア ウ・カ  
 (2) イ 共有 (1) ア ウ・カ  
 (1) オ (2) ウ (3) ア (4) イ  
 (1) めしあがつ (て) (2) おめにかかれ (て) (5) ハ  
 (4) じさい (ます) (5) こらんになつ (て) (3) さしあげ (た)

問六 (1) イ 共有 (2) ア ウ・カ  
 (2) イ 共有 (1) ア ウ・カ  
 (1) オ (2) ウ (3) ア (4) イ  
 (1) めしあがつ (て) (2) おめにかかれ (て) (5) ハ  
 (4) じさい (ます) (5) こらんになつ (て) (3) さしあげ (た)

問七 (1) イ 共有 (2) ア ウ・カ  
 (2) イ 共有 (1) ア ウ・カ  
 (1) オ (2) ウ (3) ア (4) イ  
 (1) めしあがつ (て) (2) おめにかかれ (て) (5) ハ  
 (4) じさい (ます) (5) こらんになつ (て) (3) さしあげ (た)

問八 (1) イ 共有 (2) ア ウ・カ  
 (2) イ 共有 (1) ア ウ・カ  
 (1) オ (2) ウ (3) ア (4) イ  
 (1) めしあがつ (て) (2) おめにかかれ (て) (5) ハ  
 (4) じさい (ます) (5) こらんになつ (て) (3) さしあげ (た)

問九 (1) イ 共有 (2) ア ウ・カ  
 (2) イ 共有 (1) ア ウ・カ  
 (1) オ (2) ウ (3) ア (4) イ  
 (1) めしあがつ (て) (2) おめにかかれ (て) (5) ハ  
 (4) じさい (ます) (5) こらんになつ (て) (3) さしあげ (た)

問十 (1) イ 共有 (2) ア ウ・カ  
 (2) イ 共有 (1) ア ウ・カ  
 (1) オ (2) ウ (3) ア (4) イ  
 (1) めしあがつ (て) (2) おめにかかれ (て) (5) ハ  
 (4) じさい (ます) (5) こらんになつ (て) (3) さしあげ (た)

## 解説

問六 (2) 【第一段落】の最後に「言葉くらい人をはじくものはありません・・際立つて排他的になるのも、言葉です」とあり、【第二段落】の最後に「おたがいを繋ぐべき大切な概念を共有することが、じつは言葉を異にするおたがいの共生を可能にしていく」と述べられています。

息子を大切に思い、時には厳しく接する父親であり、思いやりと良識のある人柄。

田畠さん夫妻の様子は、「ふたりはそろつて有志一同にあいさつをし」「少しでも（息子が）社会経験ができるように、いろいろな人たちと交流できるように、彼が望んだ生き方をできるようにと、心を碎いている」と描かれて、特に父親は息子に時には厳しく接し、息子とのいさかいがあつても「なにごともなかつたかのようにならぬくふるま」い、「夜更けまで皆につきあつてくれた」とあります。息子思いの愛情深い父親で、社会的にも良識ある善良な人柄であることがうかがわれます。